令和４年度　春季リーグ戦＆選手権大会に関して

開催条件

1 　大会会場が大会期間中開館していること。

2　 開催期間中に出場選手及び大会運営関係者に感染者が出ないこと。

3 　感染対策として健康管理を徹底すること。

大会運営事項

1 　有観客試合とする。

2　①今後の感染状況によっては、試合形式を変更（縮小・中止）する場合がある。

②チームの参加者人数を制限する（部長、監督、コーチ１名、主務１名、選手10名以内）

3 代表者会議はチームの主将(または責任者)１名とする。

4 試合開始前、マッチ前、マッチ終了後の握手やハイタッチを行わない。

5 各インターバル時のコーチングはマスク着用で距離を保って簡潔に行う。

6 可能な限り、アリーナの換気を定期的に実施する。

7 試合時間の短縮を考慮する状況になったらポイント制限を検討する。

8 新1年生については入学許可を得た段階で在籍者とする。参加者は日本バドミントン協会への登録を完了した者がリーグ戦出場資格を得たものとする。

９ 参加者は**全員マスク着用**、**確約書**・**当日用健康チェックリスト**を提出、**検温の実施**、大学毎に**消毒用アルコール**（大会期間中に使用可能な量）及び**ビニール手袋**（大会期間中に使用可能な量）、各自が**消毒用アルコールテッシュ**を持参すること。

10 その他、（公財）日本バドミントン協会：バドミントン活動ガイドラインを参考にする。

11 本大会において、大会期間中に感染者が確認された場合は、**山形県及び山形市の判断により大会が中止される場合もある**こと。また、今後も全日本学連主催大会の開催を続けていくためには、全加盟大学の関係者が上記を遵守し行動していただく必要がある。残念ながらこれまでの各地区学連主催大会においては不適切な行動も数多く確認されている。適切な行動がとられなかった個人あるいはチームについては、**当日の退館を命じることや以後の大会出場辞退を指示する等、厳しく対処する**ことを承知の上、参加すること。

また、不適切な行動とは体育館内の行動ばかりではなく、**宿泊先や体育館外での飲食の場等における感染防止策を怠った行動**も含まれる（宿泊は一室一名・部屋間の交流禁止・複数人が集合しての飲酒会食やカラオケ等は厳禁）ことを承知すること。

令和4年4月10日

東北学生バドミントン連盟

委員長　小松青空

会　長　北見正伸